

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見集計表

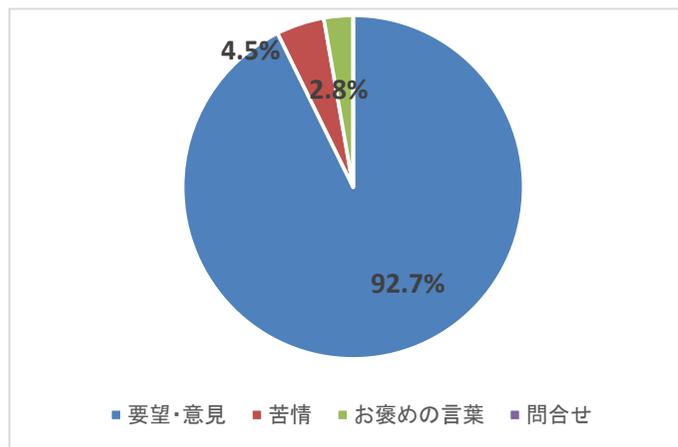
■自由記載意見

区分	件数	前年度	比較	
記載者数	348	339	9	2.7%
意見数	506	497	9	1.8%

※一記載者から複数意見が挙がる場合があるため、記載者数と意見数は一致しない。

■種類区分

区分	件数	前年度	比較	
要望・意見	469	458	11	2.4%
苦情	23	20	3	15.0%
お褒めの言葉	14	19	-5	-26.3%
問合せ	0	0	0	—



■所管区分

区分	件数
地域づくり推進課	29
防災防犯課	39
環境課	18
市民課	2
東部出張所・葉の木沢山活動センター	0
健康づくり課	17
子育て課	24
こども家庭センター	5
保険年金課	14
地域福祉課	8
生活福祉課	1
高齢者福祉課	8
地域包括支援センター	5
観光物産課	5
企業振興課	29
若者活躍推進室	2
農林課	6
都市政策課	72
道路課	42
河川公園課	16
経営課	4
施設課	8
総務課	13
企画政策課	81
たきざわ魅力発信室	16
情報システム課	0
財務課	2
税務課	1
収納課	0
会計課	0
教育総務課	3
学校教育指導課	9
学校給食センター	3
生涯学習スポーツ課	8
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	6
議会事務局	1
監査委員事務局	0
農業委員会事務局	0
選挙管理委員会事務局	2

※複数課にまたがる意見も含む

499

■内容区分

区分	件数	前年度	比較
地域・交流	20	20	0
防災	1	6	-5
防災行政無線	13	22	-9
防犯・街路灯・交通安全	28	21	7
環境（住環境）	14	5	9
ごみ	6	5	1
医療・医療費	39	35	4
子育て	30	22	8
高齢者福祉	9	18	-9
健康・検診など	1	3	-2
その他福祉	12	14	-2
産業振興（全体的）	1	1	0
雇用・企業誘致	22	8	14
観光	1	10	-9
特産品	6	5	1
商業	7	1	6
農業	3	3	0
都市計画・土地利用	12	25	-13
公園	15	17	-2
道路（整備、維持管理など）	16	16	0
歩道	4	8	-4
除雪	22	38	-16
交通網	53	40	13
河川	1	0	1
下水・上水	12	13	-1
教育（小・中）	15	4	11
芸術・文化・スポーツ	7	8	-1
職員・市役所	17	15	2
総合計画関連	0	3	-3
市制	2	5	-3
広聴・広報・HP	17	10	7
アンケート	23	24	-1
財政	0	2	-2
公共施設	16	7	9
料金・手数料	0	1	-1
税金	2	3	-1
議会	1	1	0
新型コロナウイルス感染症関連	0	4	-4
その他	58	54	4

506 497 9

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
-----	-------	-----	----------

件 名	自治会活動のあり方について
状 況 等	自治会は、地域において人と人とのつながりをつくり、そのつながりを持った市民の皆様が連携・協力しながら、地域の様々な課題を解決するために様々な活動に取り組んでいます。地域ごとに特色のある取り組みがされており、全ての地域が同じ取り組みをしているものではありませんが、市がめざす「市民主体活動を後押しできる環境づくり」の実現に向けた行動であり、市といたしましても、よりよい地域づくりの推進のための支援をしております。

件 名	地域の交流について
状 況 等	地域の交流は、日常生活を送るうえで人と人がつながり、そのつながりを広げていくために必要なものです。地域の交流により、みんなが幸せに暮らすための地域づくりが実現するものと考えています。一方で、その活動については高齢化や負担増という状況があることも認識しているところです。様々な課題がありますが、「かわりによる市民主体の地域づくり」実現のため、市内の多様な人と人とのつながりを活かした地域づくりに向けて、市といたしましても、地域づくりのさらなる支援を行ってまいりたいと考えております。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	防災行政無線放送について		
状 況 等	<p>防災行政無線放送については、「放送が聞こえない」や「放送が聞き取りにくい」といったご要望を踏まえまして、現地確認の上、音量調整やスピーカーの方向調整等の作業を実施しておりますが、問題解決に至らない場合もございますので、放送内容を「市の公式ホームページ」に掲載しているほか、放送内容が電子メールで配信される「いわてモバイルメールサービス」、放送内容がスマートフォン用アプリにプッシュ通知される「滝沢NAVI」、放送日であれば何度でも放送内容が確認できる「電話応答サービス(019-684-4192)」等を通じて、放送内容の周知に努めております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。</p>		
件 名	防犯灯の設置について		
状 況 等	<p>市では、暗路における歩行者の安全確保のため、防犯灯を設置しています。防犯灯の設置については、自治会や学校から取りまとめた要望をもとに、現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら進めています。</p> <p>要望の取りまとめや設置基準については自治会や学校へ周知していますので、一度お住いの自治会にご相談いただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	カーブミラーの設置について		
状 況 等	<p>カーブミラーについては、自治会からの要望をもとに、現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら整備を進めています。</p> <p>要望の取りまとめや設置基準については自治会へ周知していますので、一度お住いの自治会にご相談いただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	防犯灯の修繕について		
状 況 等	<p>防犯灯の不点灯については、治安維持の観点から、不点灯のご連絡をいただき次第速やかに交換対応していますので、発見した際には市またはお住いの自治会までご相談願います。</p> <p>ただし、交換の依頼が集中した際には、順番に対応していますので交換までお時間を頂きますことをご了承願います。</p>		
件 名	防犯対策について		
状 況 等	<p>市では、警察や防犯団体のご協力をいただきながら、青色回転灯装着車両による自主防犯パトロールや、少年補導員による青少年健全育成に取り組んでいます。また、犯罪抑止のために防犯灯の設置を進めています。今後も、効果的な対策を検討しながら市内の防犯に取り組んでまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	信号機の設置について
状 況 等	<p>信号機や横断歩道などの交通規制は公安委員会の所管となっておりますが、市では交通安全の取り組みとして、毎年、自治会や学校からの交通規制に関する要望を取りまとめ、盛岡西警察署に対し相談や改善依頼を行っています。</p> <p>交通規制については設置基準があるほか、交通環境へ与える影響を総合的に考慮する必要があり慎重に検討しているとのことですので、市では、自治会や学校から頂いた要望について関係機関と連携しながら安全対策を検討してまいります。</p>

件 名	交通安全について
状 況 等	<p>市では、交通指導員による街頭指導のほか、子どもからお年寄りまでを対象とした交通安全教室や広報啓発活動を通して、交通安全意識の醸成に努めており、今後も継続して実施してまいります。</p>

件 名	免許返納者に対する支援について
状 況 等	<p>免許返納者に対する支援については他自治体や民間企業等で実施している例がありますが、本市における環境の中で、運転に不安を抱える方に対してどのような支援を行うことが望ましいのか、関係部署と連携しながら検討してまいります。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	市単独での火葬場の整備について		
状 況 等	<p>市民の皆様におかれましては、火葬費用補助金の支払い状況から、盛岡市火葬場がおよそ70%、雫石町火葬場がおよそ25%、その他がおよそ5%となっており、盛岡市、雫石町をはじめとして、他市町村の火葬場を利用しているものと認識しています。</p> <p>今後高齢者が増加する中で、火葬場の利用需要は増加していくものと見込まれますが、現在の火葬場の利用状況や市の財政状況から総合的に勘案しますと、市単独で火葬場を整備することは困難であると考えております。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	コンビニ交付で取得できる行政書類について
状 況 等	当市では費用対効果の観点から、他社と比較して安価なコンビニ交付サービスを導入しており、交付できる証明書等が限定されております。コンビニ交付サービスの運営団体からは、今後取得できる証明書等の種類を増やしていく予定との説明を受けておりますので、その機会を捉えて順次対応してまいります。

件 名	窓口対応について
状 況 等	今後も窓口での顧客満足度向上に努めてまいります。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	健康づくり課
件 名	医療の充実について		
状 況 等	<p>市内には、2つの病院と17の診療所、19の歯科診療所があり、診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっております。また、盛岡市と隣接しており、市民の方々は滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択している状況であると認識しています。</p> <p>救急医療についても、岩手西北医師会の協力により休日日中の比較的軽症の場合の対応を、また、盛岡市医師会の協力により盛岡広域市町による夜間の比較的重症の場合の対応を行っています。地域医療については、県との連携を図りながら、地域の実情や医療資源等を踏まえて考えていく必要があります。盛岡保健医療圏の中での広域的な視点も含めた検討も必要になると考えます。今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会や県と連携しながら地域医療体制の維持・充実を図ってまいります。</p>		
件 名	インフルエンザ予防接種、予防接種助成の拡充について		
状 況 等	<p>予防接種については、予防接種法で「定期接種」とされたものについて、法律に基づき接種事業を行っています。幼児等のインフルエンザ予防接種においては、予防接種法で定められているものではなく、希望者が接種を行う「任意接種」となっています。幼児等インフルエンザ予防接種助成を県内で行っている33市町村では、盛岡市をはじめ定期接種とされている高齢者の助成額と差を設けているところが多くあり、滝沢市もその中に含まれます。</p> <p>インフルエンザの予防接種助成の拡充については、高齢者及び幼児等について今後も検討が必要であると考えております。予防接種助成事業としては、法律で定められている定期の予防接種の助成を優先している現状をご理解ください。</p>		
件 名	がん検診、各種健康診査の充実について		
状 況 等	<p>市町村で行うがん検診は、地域におけるがんの死亡率を減少させることを目的に実施しています。滝沢市では、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診や、骨粗しょう症予防検診、肝炎ウイルス検査を実施しております。検診項目や検査方法は国の指針に沿ったものとしております。</p> <p>がん集団検診の自己負担料金については、70歳以上の方や低所得者の方は無料となっております。他市町村に比べ、自己負担額が高い検査や低い検査があるのは承知しています。医療機関と協議の上、今後も検討が必要と考えています。検診の内容等については、今後、指針が変更になった際は、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>各種健康診査の指定医療機関は、現在市内の医療機関が主ではありますが、受診できる医療機関の拡充については今後も検討してまいります。</p>		
件 名	訪問医療について		
状 況 等	<p>訪問診療は、自宅療養中で通院が困難な方へ医師が定期的に訪問して診療を行うものです。その判断は主治医が行い、医療保険での利用が可能となっております。利用を希望する場合には、まずは主治医、病院へご相談ください。</p> <p>また、対象となる方の年齢や障がいの程度により、介護保険制度(担当課:高齢者福祉課)や障がい者の制度(担当課:地域福祉課)も利用できる場合がありますので、詳しくは担当課までお問い合わせくださるようお願いいたします。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	子育て課
-----	--------	-----	------

件 名	子育て支援、子育て環境の充実について
状 況 等	<p>市では「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づき子育てに関する施策を総合的に推進しており、現在策定中の第3期計画においても引き続き子ども・子育て支援環境の充実に取り組むことを目指します。</p> <p>保護者の働き方の変化や幼児教育・保育への関心の高まりにより教育・保育ニーズが高くなっていることから、今後も引き続き待機児童の解消に向け保育の受け皿の整備に取り組むとともに、多様な保育ニーズに対応するため保育人材確保、保育環境整備及び地域子育て支援拠点事業の実施等に努めてまいります。また、幼児教育・保育と小学校教育への円滑な接続のため、幼保小の関係者の連携に努めます。放課後の子どもたちの居場所については、維持管理等について考慮しつつ慎重に検討してまいります。</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和5年度から第2子以降の保育料の無償化事業を実施しており、令和6年度は児童手当を拡充しております。子育てに関する様々な情報について、「たきざわ子育て支援ガイドブック」を改訂しお知らせしてまいります。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	こども家庭センター
件 名	妊娠、育児に伴う助成金制度の情報について		
状 況 等	<p>こども家庭センターでは、出産・子育て応援ギフトのほか、里帰り出産により県外で妊産婦健診等を受診した方へ健診費用の一部を助成(償還払い)する制度や、双子など多胎を妊娠された妊婦の方で、受診券14枚を超えて健診を受けた方への助成制度などを実施しております。</p> <p>助成制度がより探しやすい、分かりやすい内容となるよう、ホームページの掲載内容など検討してまいります。</p>		
件 名	子育て応援ギフト等について		
状 況 等	<p>本市では、妊娠期からの切れ目ない支援を行うため、国の制度に基づき「たきざわ出産・子育て応援ギフト」を支給してまいりました。妊娠届出時に5万円、出産後に5万円を支給し、申請時に頂くアンケートや家庭訪問を通して、妊娠や出産の不安軽減、子育ての相談を行い必要な支援につなげております。現行の制度は、令和7年4月より法改正に伴い新制度「妊婦のための支援給付」にかわりますが、引き続き給付金の支給により経済的負担の軽減と相談支援により、安心して子育てができるように努めてまいります。</p>		
件 名	子育て支援について		
状 況 等	<p>こども家庭センターでは、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、出産前から子育て期にかかる切れ目のない支援を行っております。母子健康手帳の交付をはじめとし、乳幼児健診、こどもの発達に関することや、養育に不安を抱える子育て世帯などに対し、関係機関と連携して包括的な支援が行えるよう、今後も相談窓口としての周知を強化するなど、相談しやすい体制を整えてまいります。</p>		
件 名	不妊治療への助成制度について		
状 況 等	<p>本市ではこれまで令和4年4月の保険適用が拡大されるまでの間、特定不妊治療について、岩手県の不妊に悩む方への特定治療支援事業による交付決定を受けた方に対し、岩手県で補助とならない治療費の一部を助成してまいりました。</p> <p>保険適用後も不妊治療については自費での負担となる部分もあることから、国の制度等の動向等に注視し、市民のご意見を参考にしながら、今後の助成制度に関する施策について考えてまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	保険年金課
件 名	国民健康保険税の金額について		
状 況 等	<p>国民健康保険税は、各市町村の国保財政状況によって、税率が異なります。年収400万円で4人家族の世帯をモデルケースとした場合、当市の金額は県内では高い順で上から11番目になります。</p> <p>国保は社会保険とは計算方法が異なり、前年の所得金額と加入人数により、金額が算定されます。よって、離職した直後は所得金額が高い前年の所得が反映されるので、保険税が高くなる傾向になります。</p> <p>なお、社会保険には任意継続制度があり、資格喪失後20日以内に手続きをすれば、2年間継続して従前の健康保険を使うことができます。留意点は、在職中は職場が掛け金を半分負担していたため、任意継続加入中はその会社負担が無くなるため、掛け金は倍額となります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	地域福祉課
件 名	給付金について		
状 況 等	<p>市では国の方針に基づき給付金の支給事務を行っており、今年度は納税者を対象とした定額減税調整給付金の給付のほか、低所得者支援として令和6年度に新たに住民税非課税又は均等割のみ課税となった世帯に対する給付金の給付を行いました。市では今後も国の指針に基づき事務を進めてまいります。</p>		
件 名	障がいのある方が地域で暮らしていくための理解促進や啓発について		
状 況 等	<p>障がいのある方が生まれ育った地域で暮らすためには、障がい福祉サービスの提供体制の確保や相談支援体制の強化とともに、障がいがある方への理解を深める取り組みが必要だと考えております。市社会福祉協議会では、障がいに対する理解が深まるよう、障がい疑似体験学習や福祉ボランティアまつりを実施しております。</p> <p>また、地域の方が自発的に障がいのある方を支援するボランティア活動に参加できるよう、ボランティア入門講座を実施しております。引き続きこのような取り組みを続け、障がいのある方が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちを目指してまいります。</p>		
件 名	障がい者の総合的な就労支援について		
状 況 等	<p>障がい者が適正と能力に応じた職業につき、社会経済活動を行うことは、障がい者自身の経済的な自立や生きがいにつながることから、障がい者の雇用機会の拡大を図る必要があります。市では、ハローワーク等地域の関係機関と連携し、相談窓口の充実に取り組むほか、一般就労へつながる支援や職場への定着支援を行うため、就労移行支援や就労定着支援等の障がい福祉サービスの利用の促進についても取り組んでまいります。</p>		
件 名	安心して自分らしく暮らすことができる地域包括ケアシステムの構築について		
状 況 等	<p>障がいの有無や程度に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・障がい福祉・介護・住まい・社会参加や就労・地域の助け合い・教育や理解の促進などが包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指すことが、地域共生社会の実現には欠かせないものです。市では、保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて重層的な連携による支援体制の整備に努め、誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまちを目指してまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	生活福祉課
-----	-----	-----	-------

件 名	生活苦について(福祉灯油について)
状 況 等	最低限の生活に支障がある場合は、生活保護の相談を生活福祉課で受付しております。また、滝沢市福祉灯油購入費支給事業として市民税非課税世帯で障がい者がいる世帯、高齢者のみ世帯、ひとり親世帯、生活保護世帯に対して1世帯に7千円を支給しております。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	高齢者福祉課
件 名	高齢者福祉行政について		
状 況 等	<p>現在滝沢市では、「滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第9期)」に基づき、介護保険制度をはじめ、介護予防・地域福祉活動等、各種施策を展開しているところです。</p> <p>高齢化率、介護保険サービス供給量(福祉サービス事業所)等については、概ね計画通り進捗しています。今後も介護予防サービスはじめ、地域活動と一体化した施策など、各種サービス展開を国・県の補助金などを活用しながら検討していきます。なお、介護保険制度では、滝沢市内だけでなく近隣市町の事業所利用も可能なサービスがありますので、広域的視点での展開を考慮していきます。</p> <p>さらに、市民の皆様の介護・福祉保健行政についてのいろいろな不安や疑問について、お気軽に問い合わせいただくため、地域包括支援センターという相談窓口を設置しております。まずは、お電話・メール等にてお気軽にご相談ください。</p>		
件 名	高齢及び障害者の送迎について		
状 況 等	<p>市社会福祉協議会で実施している送迎サービスの活用等、既存サービスを活用いただければと思います。また、市としても公共交通政策と連携しながら、タクシー券と福祉バスの関係について検討していきます。</p>		
件 名	福祉バスの充実について		
状 況 等	<p>福祉バスについては、睦大学(高齢者生きがい対策大学)学生の送迎用として運行しているものです。毎週月曜日と金曜日、市内3路線を一日1往復(祝祭日・お盆・年末年始除く 3月は運休)運行しております。</p> <p>しばらくはこの形で運行していく予定ですので、ご理解のうえ、ご活用ください。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	高齢者が安心して生活するための相談対応について		
状 況 等	市では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、健康で自立した生活を送り、また在宅での介護が継続できるよう、高齢者の方々の心身の健康保持、保健・医療の向上、福祉の増進を包括的に支援していく機関として、滝沢市の北部・中部・南部の3か所に地域包括支援センターを設置しています。介護サービスの利用や生活支援、医療と介護の調整や認知症に関する相談など、多岐にわたって相談対応しておりますので、何かお困りの際には、ご相談いただきますようお願いいたします。		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
件 名	チャグチャグ馬コの知名度について		
状 況 等	<p>令和6年度は東京をはじめとした県内外各地のイベントにチャグチャグ馬コを出馬させることでPR活動を行いました。今後もチャグチャグ馬コ保存会や南部盛岡チャグチャグ馬コ同好会と協力しながら、チャグチャグ馬コのPR活動や人材育成をこれからも行っていくとともに、市有馬である滝姫や鈴音と共にチャグチャグ馬コの里滝沢市を全国に発信していきます。</p>		
件 名	すいか・りんごの知名度について		
状 況 等	<p>東京をはじめとした県内外各地のイベント等で試食を伴う販売会を行い、味の良さを知ってもらうことで知名度の向上を図っていますが、全国の産地と比較して収穫量がそれほど多くないため、味の良さや希少性を強みとして、今後も全国各地に滝沢市の特産品をPRして参ります。</p>		
件 名	ふるさと納税について		
状 況 等	<p>ふるさと納税返礼品については、市と一般社団法人滝沢市観光物産協会が協力しながら、返礼品を提供できる市内事業者の発掘と商品開発を行っております。また、ふるさと納税の推進には、市役所内の横断的な取り組みのほか、滝沢市商工会、滝沢市観光物産協会及び市で連携し組織した「滝沢市特産品開発連絡会」や外部団体との連携も重要と考えております。</p> <p>今後さらにふるさと納税の寄附をいただけるよう、引き続き寄附しやすい環境の整備と新たな返礼品の登録を進め、事業展開してまいります。</p>		
件 名	滝沢市ふるさと納税返礼品に係る報道について		
状 況 等	<p>当該事案については、改めてふるさと納税制度を所管する総務省に照会し、当該返礼品の登録については、制度上問題ないことを確認しております。また、報道では、倫理上の観点からの御指摘もなされておりますが、ふるさと納税制度における返礼品贈呈は、寄附者が自ら返礼品を選択する仕組みになっております。そのため、市が業者を選定し、発注する公共工事や調達等とは制度が異なっているものと考えております。</p> <p>今回の報道について、市民の皆様へ向けての市長コメントを令和6年10月9日から、市ホームページに掲載し公開しております。</p> <p>今後も、当該事案については、必要に応じ説明をさせていただき、市民の皆様への御意見も伺いながら、真摯に対応してまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	企業誘致について
状 況 等	<p>市の産業用地において、一定規模以上の製造業が立地できる用地がなく、企業誘致の対象業種として製造業を主軸にはしていないところではありますが、誘致活動の中で製造業進出の情報があつた際には、民地を含めて適地を調査するなど、柔軟に個別対応することで、製造業の誘致に向けて取り組んでいます。</p> <p>また、現在、滝沢市IPUイノベーションパークの拡張を進めており、IT技術と親和性の高いものづくり産業の集積も検討しているところであり、今後においては製造業を含めた多様な業種の企業誘致活動を展開していきたいと考えております。</p> <p>取り組みの成果として、現在、滝沢市IPUイノベーションセンター及び同パークに約30社のIT関連企業が集積しており、今後におきましても、滝沢市の特色を活かした集積を目指し、企業誘致を進めて参ります。</p>

件 名	雇用の確保について
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に市が整備した滝沢市IPUイノベーションパークへの企業誘致を進め、新たな雇用の創出に努力する他、集積したICT関連企業や大学等のポテンシャルを活かし、IoT等の活用による既存の市内事業所の生産性向上に向けた支援を図り、持続的な経営を維持することで、安定的な雇用の確保を目指します。</p> <p>また、関係機関と連携し、市民や大学生等と市内事業者を市内事業所つなげるための取組にも注力し、今後の雇用の確保に努めて参ります。</p>

件 名	商業について
状 況 等	<p>大規模小売店舗の多くは盛岡市内にあり、滝沢市はその商圏距離内にあることから、数多くの立地がなされていない状況です。</p> <p>現在、民間事業者が行っている中心拠点商業地区の開発については、市が市役所周辺を中心拠点整備の方針として定めた「買い物」「飲食」「医療・健康増進」「子育て支援」の機能を有する「結のまち滝沢」をコンセプトに基づいて行われており、市内外から中心拠点を核に人の流れを創るとともに、まちづくり活動の拠点の一部になるものと認識しているところでもあります。</p> <p>しかしながら、地域によっては、商圏人口等の条件により民間事業者の進出が進まない状況となっており、高齢化が進み、日用品の買い物の課題も出てきていることから、今後は滝沢市商工会、各商工振興会などの関係機関と協議しながら、課題の把握に努め、商業の活性化について対応を検討して参りたいと考えております。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	若者活躍推進室
件 名	学生の市内就職について		
状 況 等	<p>学生本人が希望する企業に就職するために、大学と連携したインターンシップ事業、市商工会青年部と共催で実施している職業マッチングイベントや企業からの説明会により、市内企業を含めて多くの情報を提供しているところです。</p> <p>今後も、今まで以上に大学や学生との連携や交流機会を創出し、学生に対して地域や企業の魅力を伝える取組を実施してまいります。加えて、卒業後に県外企業に就職した若者との交流事業も実施することにより、将来にわたるUターン人材への支援に寄与する取組についても検討したいと考えております。</p>		
件 名	若者主体の活動支援について		
状 況 等	<p>市内に2つ大学が立地し、学生を中心とした若者が多い特徴を生かし、若者が自己実現のため、さまざまな分野で活躍できるよう、若者世代の活動に必要な支援を行っているところです。</p> <p>今年度においては、若者と地域の様々な団体がつながり実践した活動をもとに行うプレゼンコンテスト、滝沢市IPUイノベーションパークの周知、学生・企業・地域の方々の交流の促進の場を提供する事業等を実施しています。</p> <p>今後も、若者の「柔軟な発想」により、若者自らが価値を生むための環境を構築するため、企業、地域等と連携するさまざまな活動の場を創出するとともに、学生が主体的に実施する事業の支援を展開して参ります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	農業の担い手不足・高齢化対策について		
状 況 等	<p>農業の担い手不足・高齢化対策については、地域の農業者の皆さんと話し合いを重ね課題を共有しながら将来どうあるべきかを策定した「地域計画」をもとに、関係機関と連携しながら地域に最適な対策を取組んでいくことで、次世代へ農業が繋がっていくものと捉えております。地域の農業者の皆さんの想いを大切に、取組みを進めていきたいと考えております。</p>		
件 名	農産物(スイカ)の品質向上について		
状 況 等	<p>滝沢市内では火山灰土の水はけのよい土壌と昼夜の寒暖差がある気候から、高品質な農作物が多く生産されています。特にスイカは特産品であり、自信をもって美味しいスイカが生産されていると考えております。</p> <p>しかしながら、「滝沢スイカ」には明確な基準がないため、スイカの品質にばらつきがある可能性もあり、この部分については1つの課題だと捉えております。</p> <p>今後につきましては、継続して農家の皆さんにご意見の聞き取りを行いながら、市としても更なる品質向上のため支援を行ってまいります。</p>		
件 名	行政主導による農林業担い手確保対策について		
状 況 等	<p>担い手確保対策は、人口減少に伴い深刻な課題です。市としては、職業としての農林業の魅力をPRすることで新規就業者の確保に繋げる取組みや、都市部から関係人口を拡大するための地域おこし協力隊の募集などを進めております。</p> <p>また、個人経営で負担となる農業機械の取得などは、集落営農法人が中心となって進めることで負担軽減を図られるよう法人の設立・運営支援を行っております。</p>		
件 名	熊対策について		
状 況 等	<p>予算の範囲内で通学路やクマがよく出没する箇所の手入れを中心として、クマが身を隠せる場所の下刈りや枝打ちなどの作業を実施する「緩衝帯整備」の取組を実施して行きたいと考えております。</p> <p>また、河川敷を通過して市街地に出没する事例が発生していることから、国や県などの河川管理者に対して、環境整備を実施するよう要望してまいります。</p>		
件 名	農業施策について		
状 況 等	<p>農業関係者の皆さんが、やりがいをもって農業に携わることができるようあらゆる角度から検討を進めております。農業者の皆さんのご意見を聞きながら取り組んでまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	市内の公共交通について
状 況 等	<p>市内の公共交通、特に路線バスについては県内で盛岡市に次いで本数が多く、恵まれている状況にあります。人口減少、少子高齢化、マイカー依存の影響に加え新型コロナウイルス感染症により、公共交通の利用者が減少し、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した現在も利用者の回復は見込めない状況となっています。</p> <p>県内の路線バスやタクシーにおいても、利用者の減少による交通事業者の経営悪化や、運転士不足による路線バスの大幅な減便やタクシー台数の減少が続いている状況にあります。市では、既存の公共交通の利用が難しい高齢者、公共交通不便地域の住民、さらには今後増えてくる運転免許返納者の移動手段の確保が課題であると認識しております。</p> <p>このようなことから、市では平成29年9月に策定した「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき施策を展開し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進するとともに、より効率的かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指すため、現在3市町(盛岡市、矢巾町、市)で「盛岡都市圏地域公共交通計画」の策定に向けて協議を行っているところです。今後も地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p>

件 名	空き家対策について
状 況 等	<p>市内の空き家については、年々増加傾向にあり、特に管理が不十分な空き家が増えることで衛生面や防犯面等で周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されることから、既存の空き家の利活用を図ることが課題となっております。</p> <p>市の空き家対策につきましては、令和4年3月に策定した「滝沢市空家等対策計画」に基づき、各施策を展開しているところであります。</p> <p>今後におきましても、市空家等対策計画を推進し、良好な住環境の形成に努めてまいります。</p>

件 名	市の都市計画・土地利用について
状 況 等	<p>人口減少・少子高齢化が進む現代において、地方都市では、各種生活機能を確保し、だれもが安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりの推進が重要となっております。</p> <p>市では、都市づくりの目指すべき方向性、整備方針及び地域ごとの特性を生かした将来のあるべき姿を、滝沢市総合計画や国土利用計画滝沢市計画の内容に沿いながら、その指針として「滝沢市都市計画マスタープラン」を平成27年3月に策定し、「人と人が結ばれる集約・連携型都市」を将来目標として各施策を展開しております。</p> <p>現在、市役所周辺を商業、行政、医療、教育等都市機能の集積を図り、都市の中心を担う「中心拠点地区」として位置付け、その一角を担う商業地について民間事業者による開発を進めているところであります。今後の進捗状況につきましては、商業施設等のオープンに向けて市民等へ広く周知を図ってまいります。</p> <p>また、菓子地区、元村地区、鶴飼地区など、市内の人口集中地区についてはそれぞれ「地域拠点」と位置付けており、各地域の特徴を活かしながら、人とのつながりが生まれる「場」の創出と「場」へのアクセス網の形成を意識したまちづくりを展開していくものとしております。</p> <p>さらには、雇用や活力を生む「産業拠点」として、盛岡西リサーチパーク、岩手県立大学周辺、東北自動車道インターチェンジ周辺を形成していくものとしております。</p> <p>市では、将来の人口減少や高齢化社会を見据え、これらの拠点の形成に努めるとともに各拠点間を公共交通で結ぶ集約・連携型の持続可能な都市づくりを目指してまいります。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	道路の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○市の除雪方法 市が行う除雪方法は、除雪機械で道路脇に雪を寄せる方法で、寄せた雪を移動させたり、道路から運び出すなどの排雪作業は実施しておりませんので、家の前に寄せられた雪の片づけは市民の皆様にご協力いただいております。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより完了時間は左右されます。そのため、積雪による交通障害が予想される場合には、職員によるパトロールの実施等による確認、各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど、地域にあった除雪や適切な出動判断、初期除雪の徹底に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出動を指示する場合があるため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員(担い手)不足に加え、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民と業者との相互理解の促進と協働除雪の意識醸成を図ってまいります。</p> <p>○私道除雪補助について 市では、一定の要件を満たす私道の除雪経費に対する補助金を設け、私道の除雪を支援しています。詳しくは道路課までお問合せください。</p>

件 名	道路の整備について
状 況 等	<p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を整備しているほか、小学校などの教育施設周辺から交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 市総合計画等と整合した箇所や幹線市道について、優先的に進めております。 また、財政等の理由で早期に整備が難しい箇所については部分的な側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っていきます。</p> <p>○市以外が管理する道路への整備要望 国・県等が管理する道路について、学校や自治会、住民の方々からいただきました意見につきましては、情報提供を行い、歩道整備や道路拡幅の要望を行っております。</p> <p>○私道整備補助について 市では、私道等の整備に対し補助金を設け、私道の整備を支援しています。要件等ございますので、詳しくは道路課までお問合せください。</p>

件 名	道路の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)の維持管理を行っております。</p> <p>○市道維持管理全般 日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修はその場で行うなど迅速化を図ってまいりました。しかしながら市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間に把握することは難しいため、道路を利用される方々の情報提供をお願いします。</p> <p>○計画的な修繕 舗装の全面補修や側溝設置など費用のかさむ工事については、市の修繕計画の中で危険度や緊急性を検討し順次修繕を進めております。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	河川公園課
件 名	個人所有の土地を流れる水路の工事への助成について		
状 況 等	<p>件名に係る助成金等の制度はございませんが、情報提供のあった都度、水路の状況や管理者を確認した上で対応を検討してまいります。</p>		
件 名	新規の公園の整備について		
状 況 等	<p>新規の公園の整備につきましては、設置に多大な費用や時間がかかることから、ご希望どおりに公園をつくるのが難しい状況です。</p> <p>現在市で管理する公園は大小約190箇所あり、その多くが開設から相当の年数が経過しており、安全で安心して利用できる公園を維持するため、既存の公園を改修することに力を入れております。</p> <p>現時点においては、新たな公園を整備する計画はありませんが、今後の人口やニーズ等の変化を踏まえながら検討してまいります。</p>		
件 名	「遊具が少ない・遊具を増やしてほしい」というご意見について		
状 況 等	<p>遊具を設置する場合、安全確保のため周囲に相当のスペースを確保する必要がありますが、市で管理する団地内にある公園の多くが小規模であるため、自由に使えるスペースが狭くなってしまうなどの問題がございます。</p> <p>また、市で管理する遊具の多くは設置から相当の年数が経過しており、安全で安心して利用できる公園を維持するため、自治会の意向を確認しながら古くなった遊具の修繕・更新・撤去を優先して進めております。</p> <p>そのため、現時点においては団地内にある小規模な公園に遊具を増やすことが難しい状況でございます。</p> <p>なお、滝沢市役所に隣接する滝沢総合公園は、広大な土地を有し、滝沢にお住まいの皆さんを始めとして他市町村の皆さんからも親しまれている公園であるため、令和4年度にふれあいの森に複合遊具、令和6年度には多目的広場にロープウェイを整備しましたので、是非ご来園いただければ幸いです。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	経営課
件 名	水道料金、下水道使用料について		
状 況 等	水道料金、下水道使用料につきましては、経営状況を基に、事業を将来にわたって継続していくために必要な水準で設定しています。今後、使用人口の減少に伴う収益の減少や施設の老朽化への対応など、上下水道事業を取り巻く環境は厳しさを増していくことが想定されますが、経営の効率化に取り組むなどしながら、適正な料金の水準について検討していきます。		
件 名	公共下水道受益者負担金・分担金の納入方法について		
状 況 等	水道料金、下水道使用料の納入方法につきましては、口座振替による方法のほか、納入通知書による方法(金融機関、コンビニエンスストア等でのお支払いやスマホ決済)がありますが、公共下水道受益者負担金・分担金につきましては、水道料金、下水道使用料と比較して全体の賦課件数・金額が少なく、その他の納入方法を採用するコストに見合わない等の理由により、納入通知書による方法のみとなっています。納入する方にはお手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。		
件 名	使用量のお知らせと納入通知書の配付について		
状 況 等	使用量のお知らせ(検針票)は、前回検針時から1か月間の上下水道使用量と、その月に納入していただく料金を事前にお知らせするために、検針員が検針直後各戸に配付していますが、現地に建物が無いなど検針票を配付できない場合は郵送により送付しています。 納入通知書は納入通知書によるお支払いを希望される方に、郵送等により毎月14日(休日に当たる場合はその前日)に送付しています。納入通知書は郵便料金や割高な取扱い手数料がかかるため、市では、毎回のお支払いの手間が少なく、支払い忘れを防ぐことができ、さらに市の料金徴収のコストの低減にもつながる口座振替による納入を推奨しています。		
件 名	料金等を滝沢市と盛岡市の両方に支払いが必要な区域について		
状 況 等	滝沢市と盛岡市の市境地区の一部(穴口の一部、鶉飼石留の一部、盛岡市月が丘の一部、盛岡市みたけの一部、盛岡市土淵の一部)については、「滝沢市の水道で盛岡市の下水道」又は「滝沢市の下水道で盛岡市の水道」の区域があり、水道、下水道でそれぞれ事業者が異なります。このため、このような区域で水道・下水道をご使用される場合は、それぞれの市に水道料金、下水道使用料を分けてお支払いいただく必要があります。		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	施設課
件 名	下水道整備について		
状 況 等	<p>市街化区域における下水道整備は未普及地域への汚水管渠の整備により水洗化をすすめてまいりました。市街化区域における公共下水道整備は概ね完了し、今後は、既設下水道施設の耐震化及び老朽化対策を進めてまいります。</p> <p>下水道管渠の整備には長い期間が必要となり事業費が多額となるため、市街化調整区域においては下水道整備の効率性及び採算性を勘案しながら整備区域を決定しております。今後は、公共下水道の区域外の地域については、合併処理浄化槽の普及を図ることで、水洗化を促進してまいります。現在、公共下水道の区域外の地域については、個別合併処理浄化槽の設置による従来の補助金制度に加えて市単独の嵩上げ補助を実施しております。</p>		
件 名	水道水について		
状 況 等	<p>水道水は、水道法により塩素消毒が義務づけられており、滝沢市では塩素濃度0.4mg/L以下となるように管理しております。これは、ほとんどの人が塩素臭を感じないとされる濃度ではありますが、水温が高くなると塩素臭を感じやすくなることがあります。</p> <p>また、市では、安心・安全な水の供給のため水質の監視を継続しておりますが、供給する配水管路において水質劣化が生じているなど市水道の水質について気になることがある場合は、上下水道部施設課までご連絡いただけますようお願いいたします。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応について
状 況 等	いただいたご意見、ご要望等を真摯に受け止め、ご相談へは的確に応えるなど、市民の皆様の視点に立った対応となるよう、各種研修を充実させるとともに、引き続き職員の育成、指導等に努めてまいります。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名		課 名	選挙管理委員会事務局
件 名	投票環境の整備について		
状 況 等	<p>市では、平成4年に投票区を新設し、13か所の投票所を設けております。また、令和3年から期日前投票所をビッググループ滝沢とする等、投票環境の整備に努めてまいりました。しかし、時間の経過とともに地区によっては人口の変化も生じていることから、変化に合わせた投票環境の整備については、課題の一つとして捉えております。また、投票所を運営するために必要となる施設人員、費用等の確保も困難となってきたことも課題となっております。</p> <p>一方で、有権者の投票機会を確保することも重要であることから、市内各地を巡回する移動期日前投票所の実施等投票環境の整備について引き続き検討し、可能なものから実施してまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	アンケートの内容について		
状 況 等	<p>たきざわ幸福実感アンケートは、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えているかを測るため、平成15年度から毎年度実施しています。また、アンケートの結果については、第2次滝沢市総合計画や、各施策等の様々な指標として、その進捗状況の確認に用いることで、「やさしさに包まれた滝沢」の実現に大きく寄与するものと考えています。また、長期間継続して実施しているものであり、市民の皆様のご協力により集められているこのデータは、皆様の暮らしや考え方の推移を捉えらるる貴重なものとなっています。</p> <p>しかしながら、多数の設問への回答が皆さんへの負担になっているのご指摘も複数寄せられております。そのため市では来年度アンケート調査項目の内容を再検討したいと考えております。ご回答をいただく皆様へは大変お手数をおかけしますが、趣旨目的をご理解いただき、今後とも協力いただけますと幸いです。</p>		
件 名	市長公約である盛岡赤十字病院誘致について		
状 況 等	<p>盛岡赤十字病院誘致に向けた取組も含め、市長公約は全て第2次滝沢市総合計画に盛り込み、各種施策を展開することとしています。</p> <p>その中で盛岡赤十字病院誘致に関しては、医療機関誘致に向けた基礎資料としての活用も見込み、令和6年度はまず本市の地域医療の現状を明らかにする取組として市民アンケート調査及び医療機関との意見交換を実施しました。さらに、令和7年度は、それら市民や医療機関の意見を踏まえ、今後市が目指すべき地域医療の方向性を示したいと考えており、その方針に基づき、必要となる医療機関の誘致等の地域医療の充実に向けた取組を進めたいと考えております。</p> <p>なお、市長の公約を踏まえた第2次滝沢市総合計画の進捗状況については、各年度ごとに、当該年度の翌年度7月末までに市HPで公表することとしています。</p>		
件 名	友好都市等の締結について		
状 況 等	<p>本市では、友好都市や姉妹都市を締結していません。</p> <p>しかし、静岡県菊川市との災害時の相互応援に関する協定の締結や、各種民間企業・団体との連携協定など、必要な分野を明確にし、連携を進めております。</p> <p>友好都市や姉妹都市等は、それぞれの自治体の歴史や背景を踏まえ締結されるものであると考えておりますことから、今後具体的なテーマに基づく連携が一層強化され、双方の住民も含めて機運が醸成されるなどした場合は、検討することになると考えておりますが、現時点では友好都市や姉妹都市締結の考えはありません。</p>		
件 名	婚活や恋人作りなど出会いの場について		
状 況 等	<p>少子化による人口減少対策は、本市においても重要課題となっており、未婚化、晩婚化がその大きな要因の一つと言われています。そこで、岩手県、県内全市町村、主要民間団体等が協同で設立した「いきいき岩手」結婚サポートセンター（通称:i-サポ）では、結婚を望む若者に出会いの機会を提供するサービスを行っております。岩手で、結婚、子育てをするという希望がかなえられるよう、是非ご活用ください。</p>		
件 名	バランスのとれた市内の開発について		
状 況 等	<p>本市では、第2次滝沢市総合計画基本構想に、土地利用の基本方針を定めており、「都市の利便性や各地域の特色を生かしつつ、自然の心地よさを体感できるまちづくり」を目指し、市役所周辺を中心拠点に、そのほか、北部、東部、西部、中央部、南部に地域拠点や産業拠点を置きつつ、利便性と持続可能性を意識した土地利用を推進することとしています。特にも東部地域は、岩手県立大学や市IPUイノベーションセンター・パークを中心とした産業集積の拠点化を進めており、また、他の地域拠点と同様に、安全・安心な居住空間の形成や、日常的な生活サービスを提供する各種機能の強化を図り、人が集まり交流する環境を整えるための市土の活用を目指しています。</p>		
件 名	その他のご意見等について		
状 況 等	<p>市政や暮らしに関して多数のご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。全て市民の皆様からの貴重な「思い」や「提言」と考えております。いただいたご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいまちとなるよう、引き続き取り組んでまいります。今後も市政に対し御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	たきざわ魅力発信室
-----	-------	-----	-----------

件 名	ホームページについて
状 況 等	<p>滝沢市では令和6年11月末にホームページを大幅にリニューアルしました。誰もが支障なく利用できるという状態を指すアクセシビリティの実現を主眼におき、これまで課題としていたスマートフォン表示の対応や音声読み上げ・多言語翻訳といった機能を追加しました。また、イベントカレンダーを掲載し、滝沢市営業係長のちゃぐぼんが質問に答えるチャットボットの機能も導入しました。</p> <p>市民の皆様が知りたい情報は多種多様であり、それに応えたい思いから、滝沢市が伝えたい情報も膨大な量となっています。</p> <p>これからは、皆様が欲しい情報にたどり着きやすくするために、より一層、必要な情報の取捨選択を進めると共に誰にでもやさしいホームページを目指していきます。</p>

件 名	皆様が欲しい情報を発信することについて
状 況 等	<p>滝沢市には「意外と知らない隠れた魅力」があります。</p> <p>たきざわ魅力発信室では、市民の皆様から情報をいただきながら取材に伺ったりしておりますが、これまで知ることができず、取りこぼしてしまっていた話題もあると思います。</p> <p>滝沢市の話題が市内・市外さまざまなところから聞こえることで、市民の皆様も喜びを感じ、市をもっと好きになる機会も増えると思います。</p> <p>情報の入手や発信は、市役所のマンパワーだけではすべてを網羅できません。これからは皆様からの情報も十分に受け止められる双方向の体制を作っていければと考えています。皆様の情報発信力をお借りしながら、滝沢地域を盛り上げていき、滝沢市を誇りに思う機会が増えていくことを目指したいと思っております。</p> <p>ただし、情報発信には責任が伴うものであるとも認識しております。情報の確かさについて確認する努力を怠らず、真摯に情報発信に努めたいと思っております。</p>

件 名	広報活動の在り方について
状 況 等	<p>広報たきざわは現在、お知らせ版と合わせ月2回発行しています。またSNSなどの様々な媒体を利用し、市内・市外に滝沢市を知ってもらうため、情報発信に努めています。</p> <p>一方で、広報の他にも滝沢市が様々な媒体を使って情報発信をしていることを知らなかった(伝わっていない)という感想もいただくことがあります。</p> <p>また様々な媒体を利用した情報発信には、併せて、インターネット環境が無い方やSNSの利用が難しい方に対しても、誰一人取り残さない取り組みも必要です。SNS使い方教室なども引き続き開催しながら、情報格差の解消に向けた取組も進めていきます。</p> <p>発信媒体の選択や発信・発行回数など、広報紙と他の媒体との役割分担などを研究しながら、最大の効果を発揮していければと考えています。</p>

件 名	市公式キャラクター滝沢市営業係長ちゃぐぼんについて
状 況 等	<p>市の公式キャラクターである滝沢市営業係長「ちゃぐぼん」は、滝沢市を好きになっていただくための愛着醸成のツールとして積極的に使用しています。</p> <p>市内・市外に滝沢市を知ってもらい、市を対外的にPRできる「たきざわブランド」をつくることで滝沢市の認知度を上げ、そのことで市民も滝沢市の魅力を再発見し、市を誇りに思う機会が増えていくことを目指すことができると思っています。</p> <p>ちゃぐぼんグッズ作成についてご意見ありがとうございます。我々も、ちゃぐぼんは真に「たきざわブランド」の資質を持っているキャラクターであると考えています。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	市役所前のゆうちょATMコーナーの撤退について
状 況 等	ゆうちょ銀行の運営方針により、キャッシュレス化の流れや経営改善の一環としてATMコーナーが撤退となりました。市民の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、近隣の郵便局等をご利用いただきますようお願いいたします。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	税務部	課 名	税務課
-----	-----	-----	-----

件 名	市税について
状 況 等	個人住民税や固定資産税、軽自動車税などの市税につきましては、地方税法で定められた標準的な税率で皆様に負担していただいております。標準税率を下回る税率での課税は様々な制限がかかる場合があるため、現行制度においては難しい状況となっております。今後も適正な課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
件 名	性的マイノリティの理解促進への積極的なPRについて		
状 況 等	<p>本市の各小中学校では、男女がお互いに尊重しながら性別にかかわらずその個性と能力を發揮することを目指して教育活動を進めています。</p> <p>今後も、教育委員会と学校とで連携し、多様な個性に対応しながら全ての子どもを個人として尊重し、基本的な人権を保障した学校教育を推進してまいります。</p>		
件 名	子育て世代の暮らしについて		
状 況 等	<p>本市では、これからの中学生の制服の在り方について検討を始めたところです。また、本市各中学校では、生徒への部活動への強制加入を実施しておりません。</p> <p>本市の児童生徒が有意義で豊かな学校生活を過ごせるよう、そして保護者の皆様方にも安心してお子様を学校に通わせることができるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	生涯学習スポーツ課
件 名	体育施設の建設や体育施設内備品、個人による施設予約について		
状 況 等	<p>現時点では、既存施設を維持管理しながら市民の皆様にご活用いただくとともに、トレーニングマシン等、施設内の備品は、経年劣化したものの更新を行ってまいります。なお、令和6年度において、総合公園体育館のトレーニングマシンは、一部更新等を行いました。</p> <p>また、体育施設の事前予約については、指定管理者である公益財団法人滝沢市体育協会と情報共有し、今後の予約の仕組みづくりの意見として参考とさせていただきます。</p>		
件 名	スポーツにおける全国大会出場者への応援や市民マラソン等スポーツ大会の充実について		
状 況 等	<p>公益財団法人滝沢市体育協会とも連携して全国大会などへ出場する選手や滝沢市にゆかりあるアスリートの活躍を応援しております。</p> <p>また、市民マラソンなど新規スポーツ大会の開催については、関係機関及び民間企業等との連携も視野にいれながら開催する必要があると考えます。新規のイベントも念頭に置き、スポーツの推進に引き続き取り組んで参ります。</p>		
件 名	若者主体のイベント(二十歳のつどい)の若者主体での開催について		
状 況 等	<p>二十歳のつどいにおいて、式典対象者で構成された実行委員会による企画と運営を実施しており、一つのご意見として承ります。</p>		
件 名	参加希望者のみによる単位子ども会の運営について		
状 況 等	<p>単位子ども会への参加は、児童及び保護者共に任意となっておりますが、所属する子ども会内での話し合いが必要と考えております。</p>		
件 名	コミュニティ・スクール活動の充実について		
状 況 等	<p>令和4年度より、本格的なコミュニティ・スクール活動の展開に取り組んでおり、教育振興運動と学校教育振興協議会を一体的に推進し、更なる地域学校協働活動の充実を目指します。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	滝沢市教育委員会	課 名	文化振興課
件 名	伝統芸能のさんさ踊りについて		
状 況 等	<p>本市では、県・市指定無形民俗文化財(6団体)をはじめとする郷土芸能等、日本の伝統文化全般にわたる保護と伝承、後継者の育成を目指し、発表の場を設け、後継者の育成を支援することにより、市民の文化財愛護の意識を高め、民俗芸能の保護、伝承を図るように努めています。</p> <p>引き続き、市内の郷土芸能保存団体とともに、後継者育成のため学校での取り組み推進や活動周知、PRを通じ、民俗芸能継承の大切さや伝統文化の素晴らしさを市民に広く伝えることに努め、伝統文化の保存と継承に取り組んで参ります。</p> <p>市民の皆さまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いたします。</p>		
件 名	芸術面で活躍した子どもについて		
状 況 等	<p>本市では、市内小中学校から情報提供があったもののほか、各種メディア・市ホームページの問い合わせ(メールフォーム)により寄せられた情報を基に、市民の皆さまの活躍を市ホームページ、広報たきざわ等でお知らせしています。</p> <p>本市といたしましても、より広く情報を集められるように、引き続き努めて参ります。</p> <p>市民の皆さまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いたします。</p>		
件 名	滝沢市の歩みについて		
状 況 等	<p>滝沢市の市制移行を記念し、郷土史「滝沢市の歩み」を平成30年3月16日に印刷発行しております。</p> <p>「滝沢市の歩み」は湖山図書館で閲覧することができます。</p> <p>滝沢市役所(文化振興課窓口)で販売の他、滝祭(滝沢市産業まつり)等でも出張販売を実施しております。</p> <p>「滝沢市の歩み」の販売について、市ホームページ・広報たきざわの他、引き続き市民の皆さまに情報発信(PR)をして参ります。</p>		
件 名	図書館の受付のあいさつについて		
状 況 等	<p>いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。</p> <p>来館者の皆様が図書館を気持ちよくご利用いただけるよう配慮し対応してまいります。</p>		
件 名	移動図書館及び図書館に分室について		
状 況 等	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>現在市の図書館は、市役所向かいビッグルーフ滝沢内にある湖山図書館のみとなっております。また、遠隔地の 市民への図書サービスとして移動図書館車「かっこう号」を市内6コース運行しております。</p> <p>ご要望のありました図書館の分室については現在予定はございません。</p> <p>今後も遠隔地の方にも本に親しんでもらうため、移動図書館車の蔵書のさらなる充実を図ってまいります。</p>		

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校給食センター
-----	-------	-----	----------

件 名	学校給食費の無償化について
状 況 等	<p>学校給食法では、学校給食の実施に係る食材料費や光熱水費等は保護者負担と規定されておりますが、本市では保護者負担の軽減のため、光熱水費等を除いた食材料費のみを保護者負担とし、学校給食費を算定しております。</p> <p>昨今の価格高騰の中においても、安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供し続けること、保護者負担を少しでも軽減することは重要であると捉えていることから、令和6年度も令和5年度に引き続き、主食や牛乳等の価格高騰分に相当する食材料費を市が負担することで、学校給食の質を維持するとともに保護者負担の軽減を図っております。</p> <p>財源に限られる中で多額の経費負担が必要となる学校給食費の無償化については、国の財政的支援が無いと市単独で実施することは難しい状況にあります。ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、本市では、経済的理由により就学が困難であると認められる世帯を対象に、就学援助制度を実施し、学校給食費全額を支給しております。</p>

令和6年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	議会事務局	課 名	議事総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	市議会議員の活動が見えないことについて
状 況 等	議会のインターネット中継や議会広報紙の発行、議会ホームページなどを通じて、情報発信に努めております。また、市民の皆様と直接意見交換を行う機会も設けておりますので、引き続きより多くの方々のご参加いただけるよう周知してまいります。